



こゝだより

在籍児童 200名(令和 6年 2月 9日現在)

八王子市立第八小学校

教育目標<目指す児童像> かしこく ゆたかに たくましく みんなと生きる子
～子どもたちの未来を拓く学校～

令和5年度 学校評価アンケート(保護者)集計結果

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。さて、今年度2回実施した学校評価アンケート(保護者)の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

前期：在籍数198

回収率88%

後期：在籍数201

回収率83%

肯定的意見（評価90%以上○ 70%未満△） 前後期比		【上 ↑】	【下 ↓】	
	質問内容	前期	後期	
1	学校の教育方針【子どもの未来を拓く学校ー根を張り、枝を伸ばし、花を咲かせるー】を知っている。	72%	75%	↑
2	学校が力を入れて行っている取組【基礎的・基本的な学力の定着・あいさつ】について知っている。	85%	87%	↑
3	本校が第一中学校と一緒にを行う取組【クリーン活動・オータムフェスティバル・夏季休業中の勉強の手伝い・はちおうじっ子サミット】について知っている。	70%	80%	↑
4	学校は、子どもが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組めている。	89%	90%	↑
5	学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。	83%	86%	↑
6	学校は、いじめ対応の時間を設定し、いじめの未然防止への取組やいじめの早期発見、早期対応等いじめを許さない学校づくりに取り組んでいる。	85%	80%	↓
7	子どもの学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。	85%	88%	↑
8	学校は授業において、説明、板書、発問、ICT機器の活用などの工夫に取り組んでいる。	86%	86%	
9	学校の子どもの学習活動に対する評価は適切・公平である。	80%	83%	↑
10	学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりする指導を行っている。	86%	86%	
11	学校は子どもの将来の進路や職業について適切に指導している。<「はちおうじっ子 キャリアパスポート」の活用>	72%	71%	↓
12	学校は学習環境の整備（や清掃活動）に取り組んでいる。	85%	85%	
13	学校は保護者に対して適切に情報を提供している。【学校だより・学年だより・ホームページなど】	86%	93%	↑
14	学校は、特別支援教育(特別な支援を必要とする子どもに対しての教育)に取り組んでいる。	79%	80%	↑

前期と後期を比較しての考察

質問内容	前期と比較して
1 教育方針理解	「子どもの未来を拓く学校-根を張り、枝を伸ばし、花を咲かせる-」は、段階を踏んで子どもが成長していく姿を表しています。保護者の皆様が来校された際にもご覧いただけるよう、掲示物を校舎内に掲示しています。今後も、学校だよりに教育方針に触れた文書を掲載するなど、さらに多くの皆様にご理解いただける努力を続けていきます。
2 重点目標理解	前後期ともに8割以上の肯定的な評価をいただきました。基礎学力の定着とあいさつが本校の今年度の重点目標でした。あいさつ運動などであいさつを意識する児童が増えました。学力の向上には、まだ課題の残ります。次年度も継続して学力向上に取り組みます。
3 小中一貫教育理解	前期に比べて肯定的な評価が10%増え、最も高い上昇率の項目でした。今年度はオータムフェスティバルが実施されたことや夏休みのわくわくワークで中学生に勉強を教わることなどを通して、中学との連携をご理解いただきました。次年度は、引き取り訓練の日付をそろえて実施する予定です。
4 安全管理	9割の方から肯定的評価をいただきました。子どもたちは、避難訓練を通して、非常時の避難方法や対処法について学んでいます。毎回の訓練後に学校長の講評や学級での振り返りを行い、反省を活かせるようにしています。今後も、自分の身を守るための知識が身に付くよう、繰り返し指導していきます。
5 自他の大切さ	前期に比べて肯定的な評価が3%向上しました。第八小学校では、道徳科の授業やたてわり活動など様々な場面で、人と関わる際にどうしたらお互いが気持ちよく過ごせるのか考えて行動することを、学習と同様に重視しています。本校の子どもたちは、自己肯定感が低い(児童のアンケート結果参照)ことから、自信をもてず、前向きになれない実態がありますが、自分も人も大切にできる子の育成をめざして、これからも指導を続けていきます。
6 いじめ対策	残念ながら、肯定的な評価が5%低下しました。第八小学校では、学校生活のあらゆる場面において、全ての教職員で子どもたちを見守り、いじめの未然防止に努めています。また、週に一度行われる学校いじめ対策委員会では、情報の共有やその後の経過、解決に向けた手立てなどを話し合い、早期解決に向けた努力をしているところです。ご家庭で気になることがある際には「子ども見守りシート」を活用してご連絡ください。家庭と学校とで連携して、いじめの早期発見・解決を目指していきます。
7 授業工夫	前期と比べての伸び率は3%ですが、88%と高い肯定的な評価をいただきました。子どもたちが学ぶ楽しさを感じ、基礎基本の力をしっかりと身に付けられるよう、日々の授業の充実に努めています。変化の激しい社会においても、自分で考えることのできる大人になるための基礎を身に付けていけるよう、引き続き工夫した授業を行っていきます。
8 ICT	評価の変化はありませんでしたが、肯定的評価が86%と高く、タブレットPCの活用や視覚資料の効果的な活用など、授業の工夫を重ねてきた結果と考えます。
9 学習内容評価	前期に比べ3%上昇しています。あゆみを作成する際には、同学年内や専科教員など複数の教員がかかわり、客観的な評価をしたことによると考えます。
10 生活指導	肯定的評価が86%と高く、いじめの防止とも関連させて、学校のきまりを守ることを今後も徹底していきます。今後も、人に言われるからではなく、自らの判断で行動する力を高められるよう、指導していきます。
11 進路職業教育	進路職業教育(キャリア教育)は学校の日常の教育活動の中で広く行われています。たてわり班の異学年交流、ゲストティーチャーを招いての授

	【キャリア教育】	業、校外学習で様々な人とかかわる中で、子どもたちは将来像を形作っていきます。そのことが自らの経験として積み重なり、キャリア教育へつながっていきます。係や当番活動を責任もって行うことも社会性を育む上で、大切なキャリア教育です。一番身近にいる家族の方がふだん働いている様子などを子どもたちに伝えることも、キャリア教育として大きな意義がありますので、夕食の際などの話題に挙げてみてください。
12	環境整備	学んだことを教室内に掲示することで学習の軌跡を残すことや、日々の清掃活動に加え用務主事による校内・校庭の清掃を、引き続き行っています。
13	保護者に情報提供	前期に比べて7%上昇し、全体として最も高い肯定的評価の項目でした。ホームページによる学校生活の掲載や学年便りを紙面だけでなくメール配信したこと、急な連絡事項に学校メールを活用し、即時対応したことなどが要因と考えられます。引き続き保護者の皆様と連携できるよう情報交換を密にしていきたいと考えています。
14	特別支援教育	8割の方から肯定的評価をいただきました。保護者・特別支援教室・学級担任とこまめに情報共有し、子どもに必要な支援を一緒に考え、指導しています。

令和5年度 保護者自由意見について

主な自由意見 ○…肯定的な意見 ▲改善を望まれる意見と改善策

- 宿題プリントや日記にコメントを添えてくれたり、学年だよりに子どもたちの様子を載せたり、子どもたち一人一人を丁寧に見てくれていると感じます。
- いつも丁寧に接してもらっています。ありがとうございます。子どもも先生を信頼しています。
- 子ども達の成長のために、先生が家庭と教室をつなげてくれていると思います。ありがとうございます。
- 子どもが毎日楽しそうに学校に通えていることが何よりうれしいです。
- 板書が苦手な子どものためにICT機器を取り入れてくれたことで、文字を漢字で書くことが増えたり、学習にも身が入っていると感じたり、授業の工夫がいいなと思います。

(改善策)

▲ 保護者が学校に出向いた際、児童からの挨拶が少ないというご意見をいただきました。	→	挨拶は生活の基本です。挨拶運動や学級での生活指導を通して、本校が力を入れている取り組みもあります。校内の人だけではなく、来校した人に向けても自分から挨拶していくように、挨拶を習慣化させていきます。
▲ キャリアパスポートの用途や意味についてのご意見をいただきました。	→	キャリアパスポートは、各学期の児童の目標や学校行事での頑張りを記録していくものです。保護者に返却する機会の少なかったことがキャリアパスポートがどういうものか伝わりづらかった要因と考えています。学期に一度返却しコメントをいただくを通じて、キャリアパスポートへの理解を広げていきたいと考えています。小学校から高等学校まで活用しますので、高等学校までのつながりを意識して扱い、子ども一人ひとりの育ちを記録し、今後の必要な指導や進路支援につなげられるようにしていきます。
▲ 作文を書かせるカリキュラムが少ないというご意見をいただきました。	→	主に国語科の授業の中で作文に取り組んでいます。他にも、各行事の後には学級ごとに振り返る時間を作っています。
▲ 友達とのかかわりについて、もう一步踏み込んで指導してほしいとのご意見をいただきました。	→	学級指導や道徳の授業を通して、友達とのかかわりを改めて見直す機会をつくっていきます。また、子どもからの発信を受け止められるように、子どもとコミュニケーションをとり、信頼関係を築くことに努めます。

令和5年度 学校評価アンケート(高学年児童)集計結果

前期：在籍数76 回収率96%

後期：在籍数78 回収率92%

肯定的意見（評価90%以上○ 70%未満▲） 前後期比 【上 ↑】 【下 ↓】

	質問内容	前期	後期	
1	学校目標を知っている。	▲62%	▲49%	↓
2	学校が力を入れて行っている取り組みを知っている。	▲52%	▲31%	↓
3	学校が第一中学校と一緒に行う取り組みを知っている。	▲29%	▲40%	↑
4	安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	84%	89%	↑
5	自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動することができるよう、先生たちは指導していますか。	79%	85%	↑
6	先生たちは、いじめを起こさせない取組を行ったり、発生した場合には直ちに対応をしたりするなど、いじめを許さない学校づくりに取り組んでいる。	81%	88%	↑
7	学校は落ち着いて学習できる雰囲気である。	▲68%	▲56%	↓
8	先生たちは、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器（1人1台の学習用端末を含む）の活用などの工夫に取り組んでいる。	79%	85%	↑
9	先生たちは、児童・生徒がよりよい生活を送れるように、学校の生活指導の目標やきまりを守るよう指導している。	86%	82%	↓
10	先生たちは、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」などを使って、児童・生徒の生き方や将来についての指導をしている。	78%	88%	↑
11	先生たちは、学習環境の整備に取り組んでいる。	77%	72%	↓
12	自分は、すすんで挨拶をしている。	77%	▲69%	↓
13	休み時間は、外に出て遊んでいる。	▲59%	▲67%	↑
14	私は、自分のことが好きである。	▲52%	▲50%	↓

児童アンケートでは、多くの項目で前回のアンケートを下回る結果となりました。「学校目標」や「学校が力を入れている取組」は、子どもたちに向けた周知の取り組みが不十分でした。次年度、全校朝会などの場で子どもたちに伝える機会を増やしていきます。また、「挨拶」や「学習環境の整備」、「落ち着いて学習できる雰囲気」などでは、子どもたちに寄り添いながら、安心で充実して過ごせるような指導に努めることで改善を目指していきます。評価の低い項目の中で特に気になるのが、「自分のことが好き」という質問への回答率です。肯定的な評価は、半数にとどまりました。他者との比較ではなく、自分の中の良いところを見つけて伸ばしていくことが、次年度に向けた課題です。

一方で、特に「いじめへの対策」で、子どもたちの評価が向上したことはうれしいことでした。子どもたちには、日頃の指導の中で、友だちとの間で起こる出来事で心配なことがあれば、すぐに相談するよう伝えています。ご家庭とも連携しながら、解決のための手立てを講じる中で、子どもたちからの信頼を得ることができました。次年度も、教職員一同、教育活動のさらなる向上に向けた努力を重ねていきます。ともに子どもを育てるパートナーとして、保護者・地域の皆様のご協力をお願いいたします。